

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許人は、電波の型式及び周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。
- 2 電波の型式及び周波数の指定の変更を総務大臣に申請する。
- 3 電波の型式及び周波数の指定の変更を総務大臣に届け出る。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その筐体^{きょうたい}の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 磁気羅針儀の機能
- 2 自動操舵装置の機能
- 3 他の電氣的設備の機能
- 4 自動レーダープロットング機能

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 5ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 100ワット

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の運用の停止
- 2 通信の相手方又は通信事項の制限
- 3 電波の型式の制限
- 4 再免許の拒否

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 2 運用の停止を命じた無線局を運用していると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 4 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 航海船橋の適宜な箇所
- 2 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 4 船内の適宜な箇所

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信
- 4 特定の相手方に対して行われる無線通信

〔8〕 船舶局の遭難呼出し及び遭難通報の送信は、海岸局又は他の船舶局から応答があるまでどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 応答があるまで、必要な間隔をおいて反復する。
- 2 他の無線局に妨害を与えるおそれがある場合を除き、反復を継続する。
- 3 少なくとも3分間の間隔をおいて、反復する。
- 4 少なくとも5回は反復する。

〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信することができない事由があるときに応答事項の次に送信することになっている事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 「お待ちください」及び通報を受信することができない理由
- 2 「どうぞ」及び通報を受信することができない理由
- 3 「どうぞ」及び分で表す概略の待つべき時間
- 4 「お待ちください」及び分で表す概略の待つべき時間

〔10〕 無線局が電波を発射して行う無線電話の機器の試験中、しばしば確かめなければならないことはどれか。次のうちから選べ。

- 1 空中線電力の許容偏差を超えていないかどうか。
- 2 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 3 周波数が許容偏差を超えていないかどうか。
- 4 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。

〔11〕 1 5 6 . 8 MHz の周波数の電波を使用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 遭難通信を行う場合
- 2 呼出し又は応答を行う場合
- 3 緊急通信（医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。）を行う場合
- 4 安全通信（安全呼出しを除く。）を行う場合

〔12〕 船舶局は、無線電話による緊急信号を受信したときは、遭難通信を行う場合を除き、少なくとも何分間継続してその緊急通信を受信しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 10分間
- 2 5分間
- 3 3分間
- 4 2分間